

☆☆ 観光ガイド ☆☆

モデルコース上の観光スポット

	◆本堂（観音堂） 県指定重要文化財。明応年間（1492～1501）に造立。その後元禄9～10（1696～1697）年に大修理を行うが、昭和58～61年解体修理により建立当初の形に復元された。
	◆本堂内厨子 国指定重要文化財。様式は鎌倉地方に見られる室町時代後期の典型的な禅宗様である。像高85.5cmの前立の像があり、その胎内の墨書銘から厨子の造立が明応7（1498）年であることが推定される。
	◆山門 市指定重要文化財。木造八脚門。両脇に仁王像（金剛力士）を安置する。
	◆金剛力士像 県指定重要文化財にて、関東で最も古い仁王像と言われている。釈迦如来の守護神とされ、金剛杵を手にして守護すると言われる。二体一対像で、正面向かって右が阿形像（284cm）、左が吽形像（292cm）。

☆☆ 観光ガイド ☆☆

モデルコース上の観光スポット

	金目伝道所（キリスト教） 民権家の宮田寅治は、県会議員をしていた関係上、横浜に出る機会が多く、そこでキリスト教を知り信仰し、明治22年金目観音堂北側に金目教会を設立した。キリスト教に寄せる情熱は深く、日曜学校を開いたり、社会福祉活動に活躍し資金面でも多大な貢献をした。また、盲人学校開設の秋山博を支援し、地域の福祉向上に活躍した。従って平塚最古の金目教会は金目の社会福祉の原点と言える。
	中郡盲人学校と秋山博（寂靜寺） 明治9年13歳で失明した秋山博は、南金目村の鍼医と野竹次郎に按摩の技術を学び、明治16年20歳にて南金目村に鍼灸院を開業した。開業した秋山はその技術と人柄によって、秋山の鍼「金目の鍼医さん」として有名になり、全国から患者が来院するほどであった。また、民権家宮田寅治や医師比企喜代助らの支援を受け、私立中郡盲人学校を開校した。この学校は地域の盲人教育と鍼灸師の養成に当たり、その後平塚盲学校へと発展していった。

携帯電話で乗りたいバスの待ち時間がわかります！

アドレス <http://dia.kanachu.jp/>
QRコード 

★問合せ 神奈川中央交通(株) バス案内センター
0463-22-8833
(平日9:00～17:25)

★参考文献・資料

- 湘南平塚観光マップ
- かなひ(金目)の歴史ガイドブック
- 平塚市観光協会 HP
- 金目の自然・景観ガイドブック
- 平塚市郷土誌事典
- 平塚の文化財
- 平塚市 HP

このリーフレットは、平成22年度開催の「まちづくりわいわい塾 路線バスでめぐる市内観光プランをつくろう！」の成果をもとに作成をしました。

発行 平塚市 まちづくり政策部 まちづくり政策課
TEL 0463-23-1111 内線2414
協力 東海大学 観光学部
平塚市観光協会
神奈川中央交通株式会社
平塚市 経済部 商業観光課

15時	06172324354159	平日	0914243252	休日
14時	061723294149	平日	0914243252	休日
13時	0113193453	平日	0914243252	休日
12時	062424274154	平日	0914243252	休日
11時	062424274154	平日	0914243252	休日
10時	0814242754	平日	0914243252	休日
9時	081924273954	平日	0914243252	休日
8時	081924273954	平日	0914243252	休日

13時	091513049	平日	04091912747	休日
12時	050919123757	平日	0912243450	休日
11時	021321233546	平日	001421223752	休日
10時	001314233544	平日	000918223249	休日
9時	001314233544	平日	000918223249	休日
8時	001314233544	平日	000918223249	休日

11時	分	011322264052	平日	02626355058	休日
10時	分	03031830355058	平日	12434354758	休日
9時	分	0410132228304255	平日	0512222535485858	休日
8時	分	0410132228304255	平日	0512222535485858	休日
7時	分	0410132228304255	平日	0512222535485858	休日
6時	分	0410132228304255	平日	0512222535485858	休日

時刻表 ☆☆☆
※2011/1/17時点の時刻です。以後改正されている場合があります。ご注意ください。

路線バスでめぐる気軽なお出かけプラン

歴史・花・農業の魅力再発見の旅



金目・金田方面

平塚市 まちづくり塾

☆☆ モデルコース ☆☆

〔バスは休日の時刻です〕

○『平塚駅北口』バス停発	9:58	↑(平74秦野駅行 運賃340円)	10:21	○『青柳』バス停着
○『金目親水公園』バス停発	10:29	↑(徒歩8分)	10:29	○金目親水公園着
○『金目駅』バス停発	12:33	↑(徒歩15分) (見学15分)	12:33	○『青柳』バス停着
○『平塚駅北口』バス停発	12:41	↑(徒歩18分) (見学18分)	12:41	○金目親水公園着
○『平塚養護学校前』バス停発	14:27	↑(徒歩20分) (見学20分)	14:27	○『平塚駅北口』バス停着
○『平塚駅北口』バス停発	14:42	↑(平塚駅北口行 運賃240円)	14:42	○『平塚駅北口』バス停着

☆☆ 観光ガイド ☆☆

モデルコース上の観光スポット

	金目観音堂 ※平塚八景 金目山光明寺と称し、天台宗。大宝2（702）年、僧道儀により創建されたと伝えられている。坂東33ヶ所観音霊場の第7番札所にて、源頼朝の崇敬を得、足利尊氏や関東公方の保護を受けた。本尊の観音様は、秘仏にて本堂厨子に安置され、御開帳は60年に一度、次は2034年である。 ◆由来 その昔、小磯の浜で、信仰のあつい海士（アマ）が小さな観音様を拾った。その観音様を家に持ち帰り、家の外に安置していたところ、ある夜、観音様が夢枕に立って「かない（家内）に祀れ」と言ったのをまちがえて、「かない（金目）に祀れ」と思い（当時金目をカナイと言った）金目の地に小庵を構えていた道儀上人のもとに持って行った。上人は、その観音様を安置するために観音堂を建てたと言われている。その後、僧行基が観音像を彫り、浜に流れ着いた小観音を収めたと伝えられている。像の高さ約1.7mの木彫仏で「お腹ごもりの観音像」といわれ、現在これが金目観音といわれる本尊です。「お腹ごもりの観音像」として広く知られるようになったせいで、源頼朝の夫人政子が実朝出産の折、安産祈願をしたことが『吾妻鏡』にある。
---	--

☆☆ 観光ガイド ☆☆

モデルコース上の観光スポット

	金目親水公園 5月中・下旬にはたくさんのホテルが飛び交う。また四季を通じて花や木の実、蝶や鳥が絶えない公園で、いつ行っても自然観察ができる絶好の公園である。
	三郡共立学校発祥地の碑（宗信寺境内） 自由民権運動で活躍した大住、淘綾、足柄上郡の民権家たちは、教育の必要性を学び学校建設の話し合いを続け、明治19年に三郡共立学校を宗信寺に開校した。その後生徒数の増加により、法傳寺横に建設移転し同35年農業科を増設、中郡農学校となり、同42年に平塚町への移転に伴い県立農学校となり現平塚農業高校へと引き継がれた。同42年廃校となった農学校は村長猪俣松五郎に無償貸与され、この校舎を使用して私立育英学校が開校し、その後、現秦野高校となった。
	前河原橋 平塚市が管理する2200mの橋のうち唯一の木橋。現在の橋は平成19年2月に架け替えられたもの。

歩行ルート
バス乗車区間
バス停
観光スポット

平塚駅北口バス乗り場



ひらつか花アグリマップ

D 農の体験・交流館
 開館期間 1月4日～12月28日
 開館時間 8:00～18:00 (17:00/9月～4月)

C 湘南いちご狩りセンター (いちご狩り農園)
 開園期間 1月上旬～4月下旬(期間中無休)
 開園時間 10:00～15:00(受付終了14:00)
 気候や生育状況により臨時休園する場合がありますので、必ずお問合せください。

E 金田市民農園 マイ菜ファーム

A 花菜ガーデン
 開園期間 1月5日～12月30日
 開園時間 9:00～17:00 (16:00/11月～2月)
 主な入園料金 大人500円 年間パスポート2000円

B あさつゆ広場 (大型農産物直売所)
 営業期間 1月5日～12月30日 (水曜日休み、但し祝日の場合営業)
 営業時間 9:00～18:00 (17:00/11月～2月)

平塚駅から

平塚駅へ